

インフラ管理高度化に向けた衛星受信不感区間における高精度測位技術に関する公募

【選定技術】

- ・ 技術I GNSS 衛星信号が受信できないもしくは測位精度が著しく低下する高架下等で高精度測位可能な技術
- ・ 技術II GNSS 衛星信号が受信できないトンネル内等（閉空間）で高精度測位可能な技術

| 申し込み技術名 | 応募者 ※2行目以降は、コンソーシアム構成員 | 対象技術 |
|--|--|---------------|
| AIBeaconマーケティング | 株式会社アドインテ | 技術 I |
| 高精度衛星測位からシームレスに 高精度インドア測位に切り替える手法の提案 | 株式会社スペースエッジラボ 株式会社ランプライト Asia Technology Industry Co.,Ltd | 技術 I 技術 II |
| GNSS/I NS 統合ナビゲーション及び ポジショニングテクノロジー | ゴールデンバーグ株式会社 | 技術 I |
| 慣性航法及びマップマッチング位置補正による 高精度測位 | 株式会社ゼンリンデータコム | 技術 I 技術 II |
| 仏 Syntony 社 製 トンネル内 GPS 測位 システム SubWAVE Continuous® | ステルスコンサルタント株式会社 SYNTONY SAS (サントニー簡易株式組織会社) 一般財団法人 衛星測位利用推進センター 一般社団法人 測位航法学会 屋内測位技術研究部会 一般財団法人 日欧産業協力センター | 技術 II |
| 慣性センサーと疑似GNSS複合による デッドレコニング技術 | 多摩川精機株式会社 国立大学法人東京大学 空間情報科学研究センター | 技術 II |
| カメラ可視光通信Picalico を用いた、 LED 可視光通信の位置指標による自己測位 | カシオ計算機株式会社 | 技術 II |